



ピアツーピア クライアント サポート

- [ピアツーピア クライアント サポートについて \(1 ページ\)](#)
- [ピアツーピア クライアント サポートの設定 \(2 ページ\)](#)

ピアツーピア クライアント サポートについて

ピアツーピア クライアント サポートは個別の WLAN に適用でき、各クライアントがアソシエート先の WLAN のピアツーピア ブロッキング設定を継承します。ピアツーピア クライアント サポート機能を使用すると、トラフィックの送信方法を細かく制御できます。たとえば、トラフィックをデバイス内でローカルにブリッジしたり、デバイスによってドロップしたり、アップストリーム VLAN に転送したりするように指定できます。

ローカル スイッチングの WLAN にアソシエートしたクライアントに対して、ピアツーピア ブロッキングはサポートされています。

制約事項

- ピアツーピア ブロッキングは、マルチキャスト トラフィックには適用されません。
- ピアツーピア ブロッキングは、デフォルトでは有効になっていません。
- FlexConnect では、特定の FlexConnect AP または一部の AP のみにピアツーピア ブロッキング設定を適用することはできません。SSID をブロードキャストするすべての FlexConnect AP に適用されます。
- FlexConnect 中央スイッチングのクライアントではピアツーピア アップストリーム転送がサポートされます。ただし、これは FlexConnect ローカルスイッチングではサポートされません。これはピアツーピア ドロップとして処理され、クライアント パケットはドロップされます。

FlexConnect 中央スイッチングのクライアントでは、異なる AP に関連付けられたクライアントに対するピアツーピアブロッキングがサポートされます。ただし、FlexConnect ローカルスイッチングの場合、このソリューションでは、同一の AP に接続するクライアントだけがターゲットとなります。FlexConnect ACL は、この制限の回避策として使用できません。

ピアツーピアクライアントサポートの設定

ピアツーピアクライアントサポートを設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# <code>configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wlan profile-name 例： Device(config)# <code>wlan wlan1</code>	WLAN コンフィギュレーション サブモードを開始します。 <i>profile-name</i> は設定されている WLAN のプロファイル名です。
ステップ 3	peer-blocking [drop forward-upstream] 例： Device(config-wlan)# <code>peer-blocking drop</code>	ピアツーピアブロッキングパラメータを設定します。キーワードは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • drop : ドロップアクションのピアツーピアブロッキングをイネーブルにします。 • forward-upstream : 何もせず、パケットをアップストリームに転送します。
ステップ 4	end 例： Device(config)# <code>end</code>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	show wlan id wlan-id 例： Device# <code>show wlan id 12</code>	選択した WLAN の詳細を表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。